關大

発行所
関西大学校友会
〒564
吹田市山手町3-3-35
発行人　辻見重行
電話 06(388)1121代表
FAX 06(380)8476
振替口座00930-2-55594

新しい包装文化をひらく
ザ・パック

痛恨 阪神大震災

被災された校友の皆様に謹んでお見舞い申し上げます

一月十七日早朝、阪神地域を襲った未曽有の大地震によって多くの人命が奪われ、家屋等は破壊されるなど言語に絶する被害が生じました。

罹災された校友中、ご家族を含め、無念にも命を失われた方々に対し、衷心より哀悼の意を表します。負傷された方々も多く、或は住居の喪失、損壊によって、いまなおライフラインを断たれ不自由な生活を余儀なくされる方々に心からお見舞いを申し上げます。

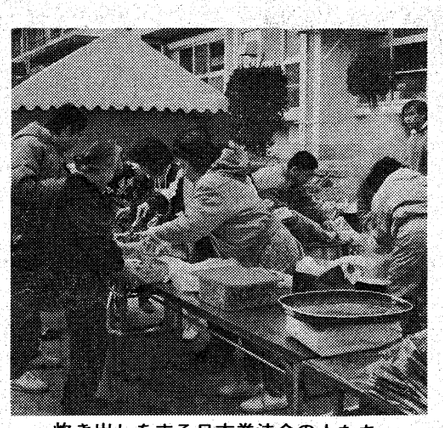
各位が一日も早くご健康を回復され、正常な生活に戻られますようお祈り申し上げます。

校友会長　植垣　幸雄

被災者に救援の手
支部なども立ち上がる

校友の命を奪い、傷つけ、家屋を破壊した阪神大震災――時間が経過するにつれて、校友たちの被害状況も分かり出した。その間、あちこちの支部で義援金を集めたり、被災地に出向き、炊き出しをするグループもいた。

（2、4面に関連記事）


炊き出しをする日本拳法会の人たち

ぜんざい、豚汁 二千食を炊出し
校友らの日本拳法会

日本拳法会（友田忠会長―19専経）は、友田会長、小西副会長（36法）、企画部長の田中章博氏（関西大学体育OB会理事長）、同組織部長浦田吉伸氏（関西大学拳法部総監督）らをはじめ有志約三十人が、阪神大震災地の西宮市で一月二十八、二十九の二日間、ぜんざいと豚汁の炊出しを行い、喜ばれた。

西宮市立瓦木小学校、瓦木中学校、樋ノ口小学校、広田小学校に避難している人たちに二日間でぜんざい二千食、豚汁二千食を食べていただいた。温かい食べ物を口に入れる機会の少ない被災者たちは、湯気の上がる容器を両手で握りしめながら「おいしいなあ」「暖まる、暖まる」と、大好評だった。

（関西大学体育OB会広報部）

豊中支部役員会が義援金10万円

校友会豊中支部（榎原武雄支部長）は、毎年年頭に開く役員会を、一月二十日午後六時から阪急豊中駅前「ホテル・アイボリー」で開催した。

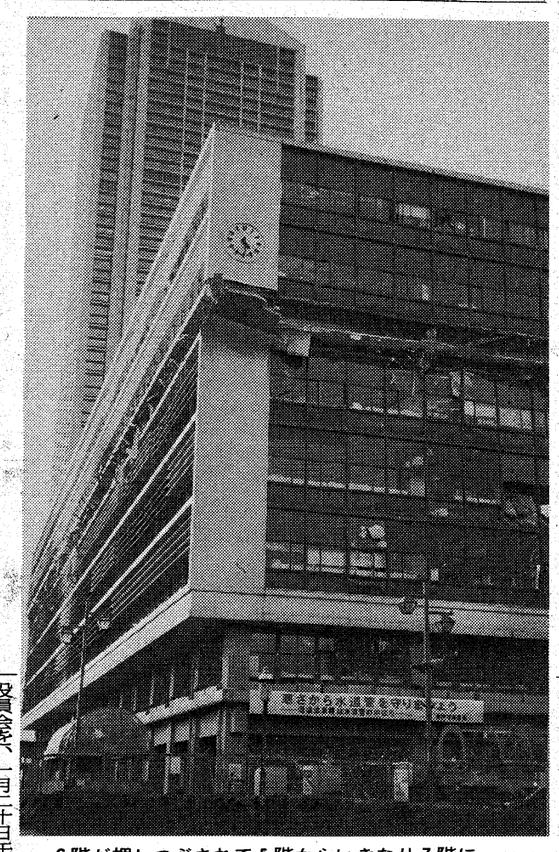
恒例の役員会とはいえ、一月十七日に襲来した阪神大震災の被害が深刻となったため、開催の是非を検討の上、実施に踏み切ったもので、特に豊中市の関係役員には、災害対策に専従体制が組まれるなど不測の事情が発生したにもかかわらず、参加者は四十人に達した。

毎年新年の役員会は、地元校友、国会議員、母校教授、校友府市議らの顧問団を囲んで開催しており、今回も通例にならい、多数の顧問団を迎えての催しとなった。

初山幹事長の司会の下、今回はテーブル毎にひとことスピーチで盛り上げた。また幹事長の肝煎りで「被災地の救済のための義援金」を募る募金箱が設置され、総額十万円の浄財が寄せられ、豊中市役所を通じ「被災義援金」として寄託した。

また当日は、校友会豊中支部の本部表彰をはじめ米山正次氏叙勲、斉藤陽氏の助役昇進に敬意を表した。

（大前　弘）


6階が押しつぶされて5階からいきなり7階になった神戸市庁舎2号館（後方の高いビルは新庁舎）

被災者に無料法律相談

学術研究会「関西大学法律相談所」は、阪神大震災の被災者を対象に三月十一日午後零時半から三時まで旧天六学舎で無料法律相談を開設する。一般の相談も受け付ける。

8万に迫る志願者
全学部で女子比率増加
95年度入試

うっすらと初雪に彩られた千里山キャンパスで二月一日、関西大学の一九九五年度法学部入学試験が実施された。引き続き七日まで工、経済、商、社会、文の各学部と二年目を迎える総合情報学部（S日程）の試験が行われ、地方試験場も含めて七万九千七百十六人が挑戦した。第二部は天六から千里山キャンパスに移転後、初めての〝千里山受験〟になった。阪神大震災の被災で受験票をなくした人には、正所に設けられた受付で〝再発行〟、大きなトラブルもなく無事終了した。合格者発表は、二月十三日法、経済、商の各学部とS日程の総合情報学部、同十四日文、社会、工の各学部で、すべて郵送で行われた。総合情報学部は、二月二十六日にA日程の入学試験を大阪を含む全国六会場で実施する。

続々とつめかける受験生たち
㊤千里山キャンパス正門前で
㊦阪急関大前駅ホームも一杯

志願者は七九、七一六人（一部七六、二七一人、二部三、四四五人）。十八歳人口の自然減少一年目の九三年度入試の八七、一九〇人より七、四七四人減、九四年度の八七、一五二人より七、四三四人減っている。昨年度比減少率は八・五三％。大学関係者は、一割の減少は覚悟していた。それ以下に抑えられたのは、よく踏んばったといえるのでは」と、阪神大震災などマイナス要因が加わる中で〝健闘〟したとみている。

今回は、地方試験場を昨年度の札幌、仙台、東京、新潟、金沢、愛知、岡山、広島、高松、松山、福岡、鹿児島に新たに横浜、浜松、米子の三会場を設けた。

新設三会場の志願者は合計で七八四人（横浜二六二、浜松三六八、米子一五四）だった。地方試験場で昨年度より増加したのは松山（四一六人）五・九％増だけで、札幌の四〇・二％、鹿児島三四・〇％などの減少が目立った。〝地方〟志願者の総計は一八、〇五〇人で昨年度比一七・一％減。

学部別でみると、昨年度を上回ったのは一部では法学部一〇、四五五人（昨年度比一、〇六四人増）と商学部一一、四九九人（同三七四人増）。減少の目立ったのは昨年春、開設された総合情報学部。三、九一一人（同三、一二六人減）で四四・四三％と大幅にダウンした。昨年度は時代にあった新設学部として志願者が殺到、二回目の志願者八、四五六人を合わせると二五、五八五人と新設学部としては〝日本一〟を記録した。それだけに過去新設学部の二年目は大きく減少するの例にもれず、ジンクスを破ることはできなかった。

他の学部では文学部一一、七四六人（昨年度比一三・八二％減）、経済学部二〇、二〇九人（同八・七三％減）、社会学部二二、一四八人（一六・五二％減）、工学部一六、三〇三人（三・八六％減）で中でも工学部の減少率が低かった。

逆に第二部は、文学部が七七三人（昨年度比一〇・九四％減）と減少した以外は昨年度より増加した。法学部七六六人（同〇・五二％増）、経済学部八一九人（一八・八七％増）、商学部五五四人（一七・八七％増）、社会学部五三三人（一〇・三五％増）で、全体では三、四四五人と、五・二九％昨年度よりアップした。

現役と浪人の割合をみると一部は現役五〇・〇％、浪人四九・五％。二部は現役二三・五％、浪人七四・一％で、いずれも昨年度と比べ横ばい状態だった（一〇〇％にならないのは、他に検定などが含まれる）。一部の女子学生についてみれば現役が六八・五％と大きく浪人を上回っている。

次に女子の志願者状況（一部）は、一八、四五一人で昨年度比三・八％減と、一部全体の減少率九・〇七％を下回った。昨年度より志願者がふえたのは、法、経済、商、工の各学部。また学部別の女子の占める割合は法二四・四％（昨年度比一・五％増）、文五一・三％（同一・九％増）、経済一四・〇％（二・〇％増）、商一八・八％（二・九％増）、社会三二・七％（一・七％増）、総合情報二五・九％（五・四％増）、工七・九％（〇・七％増）と、全学部でわずかではあるが増加している。中でも文学部では五割を超え、男子志願者を上回ったのが目をひく。

なお、今回の志願者数は、一月二十五日現在のまとめで、本学では阪神大震災の被災者には、大阪試験場に限って一月二十七日まで出願受付をしており、確定数ではない。

77年の歴史に支えられた
ハンドメイド紳士服の最高峰
Kitahama
KATANO
1918
株式会社 カタノ
〒541 大阪市中央区北浜2丁目1番21号
北浜カタノビル1F
☎(06)231-0565～7
近鉄百貨店紳士服特選お誂えコーナー
上本町店・枚方店・奈良店・橿原店

葦の雫

亥年は大災害が起こり易いというが、去る一月十七日午前五時四十六分、近畿を襲った阪神大震災（兵庫県南部地震）がそれを実証する羽目になった。震度7の都市直下型の烈震が現代文明の所産を一瞬にして瓦礫と化し、自然の力の恐ろしさをまざまざと見せつけた▼突然、烈震が家屋を潰し、ビルや橋や高速道路を倒壊させ、陸上交通網を分断し、多くの死傷者を出すなど、都市型災害の見本の様相を呈した。さらに、三二七件の火災が発生して一〇〇㌶以上を焼失、二次災害も次第に拡大した▼その結果、死者五、三二九名、行方不明者二名、負傷者三三、二三二名、建物損壊一〇九、四六四棟と被害は甚大。広域にわたって電気・ガス・水道が止まり、電話も不通、さらに流通・情報網の寸断により生活必需品などが不足し、復旧見込みの長期化と相俟って住民の不安を増幅▼過去の近畿の大地震では、慶長元年（一五九八）の地震、寛文二年（一六六二）の地震、昭和二年（一九二七）の地震（北丹後地震）などがある▼関東の地震が海底で起きる場合が多いのに対し、関西では内陸部の活断層がずれ動いて起こるのが特徴。人口密集地の近辺で起こるので、地震の規模の割には被害が大きくなる。阪神大震災は北丹後地震（死者二、九二五名・家屋全壊二二、五八四棟）を遥かに上回り、大正十二年（一九二三）の関東大震災に次ぐ大惨事となった▼本紙四三四号（平成五年九月号）の「大阪文化論」欄で赤松勝也本学工学部教授が大地震の起こる可能性を論じられたが、不幸にも一年四か月後にこれが現実のものとなった。犠牲者のご冥福を祈るとともに、被災者の救援活動と復旧作業が効率的に行われることを願うばかりである。

大阪弁護士会会長に上原氏

監事の上原洋九氏（六二）写真、吹田市青山台三―一三―三―は、一月十三日、来年度の大阪弁護士会会長に選出された。任期は四月一日から一年間。

上原氏は昭和三十二年、本学法学部を卒業、三十六年に弁護士登録、五十二年大阪弁護士会副会長に就任したのをはじめ、近畿弁護士会連合会理事、日弁連司法問題委員長など歴任。

本学出身の弁護士で大阪弁護士会会長を務めた人は、上原氏で十四人目。最初に就任したのは大正十一年に白川朋吉氏（推薦校友・故人）で、現校友会会長の植垣幸雄氏（昭11専二法）も昭和四十七年に就任している。

その他の大阪弁護士会会長経験者の校友は次の各氏。卒業年の後の数字は就任年。

松本静史（明治39専法・故人、昭和17）▽中務平吉（推薦校友・故人、20）▽吉長正好（推薦校友・故人・同、23）▽白井誠（大正4専法・同、25）▽大月伸（大6専法・同、29）▽阿部甚吉（昭和7専法・同、39）▽安富敬作（昭7大政・同、43）▽小林昶（6専法・同、46）▽棚野誠幸（臨16大法、50）▽川見公直（14専二法、52）▽中西清一（27学一法、63）

会と催し

▽第7回常議員会　2月24日（金）午後6時　パレス2号室
▽寝屋川支部総会　2月25日（土）午後6時　ひらかた仙亭
▽天王寺支部総会　3月3日（金）午後6時半　フェイセス月華殿
▽関西大学政治学会第十一回総会　3月4日（土）午後1時　エルおおさか5階
▽愛媛東予支部総会　3月12日（日）午後2時　ケーオーホテル
▽関西大学学部卒業式　3月20日（月）午前10時第一部　金学部　千里山キャンパス第二体育館　午後6時第二部全学部　千里山キャンパス一〇〇周年記念会館
▽第63回定例代議員会　3月25日（土）午後1時半　千里山キャンパス一〇〇周年記念会館

内外国　特許・商標・出願全般
特許侵害事件
鈴木・鮫島国際特許事務所
会長・弁理士　鈴木武夫
所長・弁理士　鮫島武信
大阪市西区北堀江一丁目七番三号
大花興産ビル2F・3F
（四ツ橋交差点西角　地下鉄四ツ橋線四ツ橋駅中央西出口隣）
電話　大阪〇六（五二一）七四三一（代）
国際テレックス　〇五二五九〇五　TSIPOL
ファックス　〇六（五二一）七四三一五

'95スプリングフェスティバル
10回目迎える校友デー
4月2日(日) 千里山キャンパスで開催

校友会が百周年記念事業として始めた「スプリングフェスティバル～桜の母校によっといデー～」も今年で早くも十回目を迎える。昭和六十一年四月六日、春の日が燦々と降り注ぐ第一グラウンドでスタンドをぎっしりと埋めた校友と家族に、故・久井忠雄理事長が「校友の皆さん、ようこそお帰りなさい！」と呼びかけると大きな歓声と拍手で応えた感動的な光景が、校友会では原則として四月の第一日曜日を〝校友デー〟と定め、毎年開催してきた。お陰で校友が家族と揃って楽しむばかりでなく、この日にあわせて校友会各組織をはじめ、ゼミOB会・クラブOB会などでは、教室で総会や懇親会を開くところが増え、教職員とOBに現役学生も含めたオール関大人の春の行事として定着した。今年も大学の全面的な協力を得て、四月二日の日曜日、千里山キャンパスで開催する。昨年、第二部の千里山移転にともなうキャンパス再整備計画に沿って完成した六千人が一堂に会せる第二体育館やインテリジェント化された第二学舎一号館、学生のクラブ活動の場・誠之館六号館もすっかり千里山キャンパスの中に溶け込んできた。十回目の今年、二千五百本のキャンパスの桜もひと回り大きくなって「四月二日は、またみんな揃って桜の母校によっといデー！」と呼びかけている。

◆開催日時　四月二日（日）午前十時～午後三時（時間内に自由に来学）
◆開催場所　関西大学千里山キャンパス（駐車場はないので電車をご利用下さい。阪急千里線「関大前」駅下車）
◆問い合わせ……'95スプリングフェスティバルに関する問い合わせは、すべて校友会事務局（電話〇六―三六八―〇〇四〇～〇〇四六）まで。

主な見学施設

「回想…古きよき大阪―江戸から明治の名所めぐり―」展を開催中
◆総合図書館……昭和六十年四月の開館以来全学の学術情報の中枢となっている。今年も一階展示室では、春季特別展「回想…古きよき大阪―江戸から明治の名所めぐり―」が開催されている。今回の企画は例年とは趣向を変えて、〝関空〟の開港で新しい時代を迎えた大阪の古い時代の名所へタイムスリップして歩いてみようというもの。「大阪の摺物」を中心に、名所図絵、案内記、ガイドブック等館蔵の資料を展示し、祭礼などで賑わう四天王寺・住吉大社や天神祭など当時の名所の様子を体験することができる。展示は前期（四月～五月初旬）と後期（五月中旬～六月中旬）に分かれ、前期は江戸時代、後期は明治時代となるため、当日は江戸時代の大坂の名所の数々が展示されている。

校友親子の進学相談コーナーも

一階ロビーでは関大への進学に関する校友親子の何でも相談コーナーが開設され、専門の教職員が相談にのってくれる。今年は、特に四月から一年生が男女共学となる一中、三年後に女子生徒を受け入れる一高についての受験相談もできる。将来、関大や一中・一高への進学を希望するご子息をお持ちの校友は、家族で気軽に立ち寄り下さい。

国宝の梵鐘類を中心に金石文拓本を特別展示

◆博物館……昭和二十九年四月、旧本山コレクション（元毎日新聞社社長本山彦一氏寄集資料）を中心に、考古学研究室として設立され、考古学等資料室を経て昨年四月に博物館として登録された。天理市渋谷出土の石枕など重要文化財に指定された十六点の資料をはじめ、故末永雅雄名誉教授の復元された甲冑類など考古・歴史・民族等の貴重な資料約二万五千点を収蔵。

今年は、所蔵する約二千点の日本・中国・韓国等の金石文拓本の中から平成五年度に新たに表装した三十二点が、この催しのために写真と解説を加えて展示される。

今回は「梵鐘」類の拓本で日本最古の紀年銘をもつ京都「妙心寺」の梵鐘銘文（戊戌年四月・六九八年）他、福井県剱神社、奈良県栄山寺、京都神護寺、宇治平等院、神奈川県円覚寺など国宝に指定されているものが多数ある。

母校の新しいシンボル

◆一〇〇周年記念会館……創立一〇〇周年記念のメイン事業として平成元年十一月に竣工した母校の新しいシンボル。第十一回大阪まちなみ賞の奨励賞を受賞している。

＊雨天の場合は、午後一時から第一グラウンドで行う「行事」を一〇〇周年記念会館ホールで行う。

教室で総会・懇親会を

◆団体の総会・懇親会……校友会の登録組織をはじめゼミOB会、クラブOB会などが、総会・懇親会・現役との交歓会などを開催する場合は、大学の配慮により教室を会場として使用することができる。事前に申し込みが必要で、団体名（催名）、連絡先住所、氏名、電話番号、予定参加人数等を校友会事務局まで。大学と調整の上、後日使用教室を連絡する（弁当など食事の団体予約については後述の生協食堂欄参照。なお、教室等を使用しない団体も、当日参加者全員に配付するプログラムには催し内容を掲載するので必ずご連絡下さい）

▼本紙三月号に申込団体を一括掲載……三月四日までに申し込みの団体については、会員への参加呼びかけの一助として本紙三月号（三月十五日付発行）に「総会等開催団体一覧」として申込内容を掲載します。早めに申し込み下さい。

行事

歓迎セレモニーと応援団の演舞演奏
◆第一グラウンド……午後一時から校友会長、理事長、学長の校友を歓迎する挨拶があり、続いて応援団三パートによる〝演舞〟〝演奏〟〝ドリル〟などが華やかに繰り広げられる。
野点で歓迎、投句の用意も
◆大学院前芝生……野点会場（無料）を設営し、茶道部現役学生が〝おてまえ〟で参加者を歓迎。野点会場には短冊など投句の用意もし、桜をめで野点で一服しながら作句していただいた作品はその場で掲示する。
◆遺族招待……本催しに昨年亡くなられた校友・大学関係者の遺族を招待し、大学の現況を参観いただく。
◆留学生招待……本催しに留学生を招待して、交歓親善をはかる。

食事・弁当・飲物

◆生協食堂……昼食時には、千二百席を有する生協食堂が、和定食・洋定食・麺類・丼物をはじめお子様向けのメニューも用意して待っている。また、教室等で総会・懇談会を開催の場合や、桜の下でグループの歓談会を開催の場合には、弁当（お茶付・千円）やオードブル、飲物のほか、特別料理の予約もできる。希望のむきは関大生協飲食事業部（電話〇六―三八八―七六四二）まで直接申込みを。
◆レストラン紫紺……一〇〇周年記念会館のレストラン紫紺では、喫茶・軽食の営業をしており、記念会館を見学のあと、ゆっくりくつろぐことができる。
テントで弁当・飲物
関大グッズも販売
なお、総合図書館前の生協テントでは弁当・缶ビール・缶ジュースのほか参加者の記念品にもなる校章入りの瓦せんべいやネクタイピン・Tシャツ・キーホルダー・うちわなど関大オリジナルグッズも販売している。

総合感冒薬　かぜの諸症状の緩和
イソプロピルアンチピリン配合
プレコール®
持続性カプセル
錠剤も発売
この医薬品は「使用上の注意」をよく読んで正しくお使い下さい。

Yabuuchi
おかげさまで創業120周年。
120周年記念腕時計「セント・ポール」
㈱服部セイコーの技術と協力により完成された、
数量限定オリジナルウォッチ（特製記念ケース入り）
関大校友の方は、「関西大学校友カード」または
右下の「関大校友特別優待券」をご持参下さい。
特別割引させていただきます。

特別記念価格 ¥1,500,000（税別）　特別記念価格 ¥150,000（税別）
大阪 心斎橋筋
やぶ内時計舗
関西大学校友カード提携優待店
電話　06(211)1050(代)
営業時間　AM11:00～PM20:00　定休日　第3水曜日
昭和35年法学部卒
藪内正明
関大校友特別優待券（H7.2）

EUROPEAN CARS SINCE 1945
ROVER
1.9%Special Auto Loan実施中
この機会に英国伝統の心地よい贅沢を

Rover Japan正規代理店
JIRON ジロン自動車株式会社
代表取締役　吉田尚司
大阪市浪速区下寺3丁目8－5
TEL06(644)0010(代) FAX06(644)0011

各地で震災義援金

1面の続き

愛知支部は関学OBと

愛知支部は、恒例の関学同窓会名古屋支部との「新春賀詞交歓会」を一月二十日、名古屋駅前のホテルキャッスルプラザで開いた。しかし阪神大震災の悲報に、中止の声もでたが、当日になり急ぎ、名称を「関学交流の集い」と改め、この会を、義援金募集の場として開催することにした。

両校出席者に物品を寄付していただいて、オークションを開催し、会場にも善意の支援箱を用意した。

九十人の両校の出席者全員は、阪神地区に深い縁があり、空前の被害を受けられた皆様に、心ばかりのお見舞いとして、オークションの売上と支援箱との合計三十二万円を義援金として、名古屋CBCテレビ局の三久保アナウンサー部長（関学）に関大岩瀬支部長、関学長崎副支部長とで寄託した。

最後に両校友エールの交換をし、一日も早い阪神大震災の復興を念じながら散会した。（岩瀬弥三郎）

在学生の援助にと滋賀支部

滋賀支部（衣斐淳一支部長）は、一月二十一日、JR大津駅前の中国料理「かすが」で恒例の新年賀詞交歓会を、京都支部から二人の来賓を迎え、六十余人の参加を得て開催した。

年々、女性校友、若い校友の参加者がふえていく中、特に今年は女性校友の企画により新春らしくテーブルごとに俳句を作ってもらい、その出来を競いながらの終始なごやかな会となった。

席上、十七日早朝の阪神大震災により被害に遭われた在学生に援助の手をと協力を呼びかけたところ、八万六千円の義援金が寄せられ、設置されたばかりの関西大学災害特別義援金募集事務局を通じて募金した。（山田　勲）

弁理士関大会は福引予算を拠出

今年度の弁理士関大会の定例総会は、一月二十六日午後六時十五分より肥後橋の徐園で開催された。震災のために開催を危ぶむ声もあったが、新会長の選任などの重要な議案を先送りする訳にもいかず、予定どおりの開催となった。

幸い、会員には重大な被害を受けた者はない模様で、当日は、神戸・阪神方面などに在住する一部の会員の欠席はあったものの、二十六人の出席をみた。寺西武校友会副会長、高森八四郎教学部長、岸井貞男行政試験受験研究会長、藤本道人校友会事務局次長を来賓に迎え、大和田隆太郎会長が挨拶。寺西校友会副会長、高森教学部長から、母校の近況などをまじえた挨拶をいただいた。

議事に移り、各幹事長から本年度の事業報告があり、続いて次年度の会長に、奥村文雄氏が選出された。

続いて受章者・合格者の祝賀会を開催した。今年度は会員の及川昭二氏が黄綬褒章を受章、大和田会長より記念品が贈呈され、森本義弘元会長より祝辞があった。また本年度は本学より四人の弁理士試験合格者を出し、そのうち京都在住で地震の影響を殆ど受けなかった門林弘隆氏が出席、新会員として紹介された。大和田会長より合格者代表として門林氏に記念品を贈呈、岸井行政試験受験研究会会長より祝辞をいただいた。

祝電の披露、記念撮影のあと、懇親会に移り、歓談のひとときを楽しんだ。今回は恒例の福引大会は中止され、この福引のための予算は出席者の賛同により震災の義援金として活用することになった。

最後に全員が輪になり、藤本校友会事務局次長の音頭で過遇歌を合唱、午後九時頃に閉会となった。（原田洋平）

天六社友会の斉藤会員犠牲

夫人、長女ともに

社友会の九五年度新春研究会（吉井俊夫会長）が、一月二十八日、大阪・桜ノ宮水桜会館で阪神大震災後で開催が危ぶまれたが、被災地区（神戸市）の吉井会長（31経）はじめ二十二人が参加して開かれた。

八尾市助役の森田桂司氏（35法）が「行政改革と地方分権」と題して、中央主導型の行政から地方の自立化をほかり活性化を、また今回の震災で八尾市がどう対応したか、震度六の備蓄は全く不充分などと述べた。

次に「阪神大地震と活断層」について、地質調査四十年の金田昌介氏（33英、協同ソイルエンジニアリング㈱社長）に登場願った。兵庫地区の方ラーコピーによる活断層の分危ぶまれた被災地区の地質と被災状況などマスコミ等に伝えられる以上に切実な、身近な問題として提起された。

会員四十余人のうち、不幸にも斉藤実氏（39法、西宮市仁川百合野町）は、奥さん、長女とともに家屋倒壊で亡くなられ、二女の則子さんが唯一人不在中で難を逃れられた。全員でカンパを集め、冥福をお祈りした。

社友会誌第七号の希望者は社友会事務局へ。（松本　茂）

大阪市役所支部

支部長に笹倉氏

相談役ポスト新設

大阪市役所支部の平成六年度総会が、十二月七日午後六時半から大阪市中央区の大阪コクサイホテル「いちょうの間」で開催された。

当日、会場には大阪市役所の課長級以上の職員のほか、母校校友会本部から植垣会長と辻見事務局長、大阪市から西尾正也市長の代理として阪口英一助役、校友市会議員と多数の来賓を迎えるとともに、三月三十一日付で大阪市役所を退職された校友と、在職の二部卒業生及び新採用の校友職員を招待するなど、合わせて百五十余人の出席のもとで盛大に挙行された。

石部幹事長が司会、進行役を務め、第一部の総会は学歌斉唱、支部長挨拶に続き来賓の市長代理の阪口助役、植垣会長、坂井市会議員からご懇篤な言葉をいただいた。

引き続いて議事に入り、先に行われた幹事会承認の活動報告、会計報告、同監査報告等を満場一致で承認した。さらに、役員の改選で長年市役所支部の支部長として責を全うされた坂部謙道氏が定年退職されたのにともない、新支部長に笹倉和忠氏（市会事務局長）が就任した。また、新たに相談役ポストを設けることが決議され、その役席に時田清氏（財政局理事）が就任することとなった。

第二部の懇親会は中西建策市会副議長の乾杯で開宴に入り、会場いっぱい和やかに歓談の輪が広がり、お互いの親睦を深めあった。その間、招待した退職者、二部卒業生、新採用者の一人々々自己紹介を含め近況を報告していただき、今後の活躍に、全員の激励の拍手が鳴り響いた。最後は、西庄幹事のリードで過遇歌を声高らかに合唱して総会の幕を閉じた。（久保忠二）

150人が出席して盛会だった大阪市役所支部総会

吹田支部

役員会で新年度の躍進誓う

吹田支部（佐々木砂夫支部長）は、総会の反省会を兼ねて恒例の役員忘年会を十二月三日午後六時からサンクス一番館の牡丹苑で開き、支部顧問の植垣幸雄校友会長、参与の杉本庄七、伊藤孝義両吹田市会議員はじめ二十五人が出席。五年連続で百人を超えた総会や婦人部の家族懇親会、ゴルフ部会の年二回の大会など、活発だった一年間の活動を振り返るとともに新年度の一層の発展を誓い合った。

佐々木支部長が公務で遅れるため、まず植垣顧問から校友会の現況、とりわけ郵便料の値上げにともなう機関紙「関大」の発行のための特別協力金の協賛お礼と一層の協賛依頼の挨拶があり、続いて中川卓三幹事長から総会決算報告、新常任幹事候補の推薦等の提案があり、拍手で承認した。

杉本参与の乾杯の音頭で懇親会に移ったところで佐々木支部長が駆けつけ挨拶。支部総会での役員の協力に謝意を表した。あと各自が支部の運営について意見を述べ合い、最後に元応援団長・松本直樹常任幹事のリードで過遇歌を合唱し散会した。（有澤　潤）

一層の発展を誓って乾杯する吹田支部の役員ら

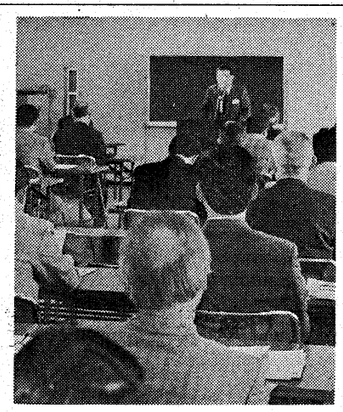
泉南支部

10周年迎え盛大に総会

平成六年度泉南支部総会は設立十周年を迎え十月二十三日午後四時から、ゆかりの泉南市樽井公民館で植垣校友会長、辻員事務局長、腕野熊取支部長ほか来賓を含め総勢五十五人が出席、開催された。

第一部総会は学歌斉唱、物故者への黙祷の後、杉野支部長から泉南市、阪南市、岬町の二市一町が長く連なり八百人近い校友を数えるが、広域のため、組織のまとまりに苦労する旨の挨拶があった。

植垣会長から支部設立十周年の表彰状が支部長へ手渡され、全員、大きな拍手で喜び合った。



支部総会で挨拶する杉野支部長

門真支部

組織充実に意欲

中学校区を基盤に

門真支部（北野武治支部長）は平成六年十一月二十五日、仙亭で総会を開催した。母校関大から中上校友会副会長、辻見事務局長、近隣支部からは中交野支部長、土肥寝屋川副支部長、大谷枚方副支部長、また職域支部からは山本守口市役所純正会幹事長ら総勢四十五人が参加、植田副支部長司会で進められた。

まず平野副支部長の開会のことば、続いて学歌を斉唱。北野支部長は、当支部は約六百人の校友がおり、来年に備え組織の充実拡大のため①中学校七校下を基礎とする②会運営に会員制の検討③新名簿の作成④他支部との友好関係の更なる増進を計りたいと挨拶した。

中上副会長は母校校友会活動の実情（教学の新体制、平成七年の入学試験、大学の評価、特別協力金）と将来の私立大学につき国内外の資料を比較しながらわかり易く説明、厳しい今後の私学運営に校友会OBとして協力しようと挨拶した。

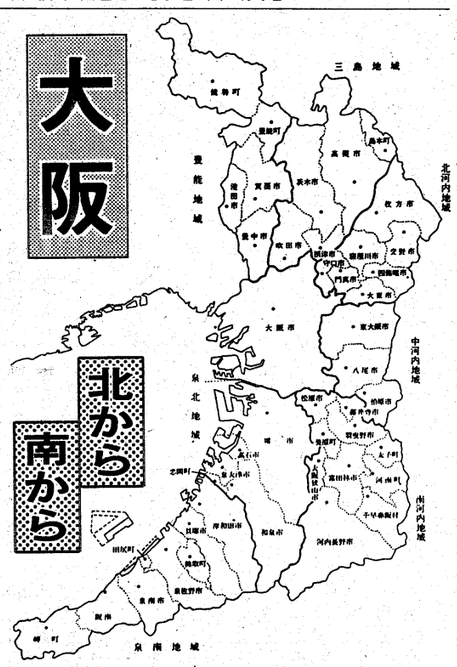
ゴルフコンペ表彰式等をはさみながら、例年以上の盛り上りで過遇歌が早すぎるとの声の中、大合唱。宮本副支部長の万歳三唱で感激、感動の一日は、次回の再会を約し無事終了した。

第二回支部名簿を発行しました。ご希望の方は事務局（泉南市牧野㈱光陽内　三原毅＝TEL0724・82・5353）へ。（森本　譲）

記念写真を撮る会員たち

大阪

北から南から



特別協力金に協賛

東大阪市役所千陵会

東大阪市役所千陵会（会長・嶋崎清治水道企業管理者）の平成六年度総会が、十二月二十六日、飛鳳の下呂温泉一泊で、下村善博、川瀬誠両助役を含め四十六人が出席して開催された。

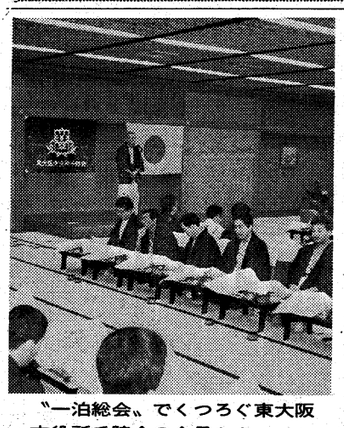
会計報告、役員改選について昭和四十三年十二月千陵会創設以来二十六年にわたり、お世話して下さった佐伯文也幹事長のご退職に伴い、長年のご労苦に対し感謝状と記念品を贈ることが満場一致で承認され、総会を終了した。

なお校友会本部事業である特別協力金について、東大阪市役所千陵会の名において金一封を協賛する特別決議がなされた。

両日とも晴天に恵まれ、車中から眺める紅葉はひときわ美しく、中仙道の妻籠を散策するなど楽しいひとときを過ごした。

新役員は次の各氏。

会長＝嶋崎清治▽相談役＝下村善博、川瀬誠▽副会長＝寺前力、木原健雄▽幹事長＝高山尚也▽副幹事長＝門野功、小川清嗣▽会計＝巽信一▽会計監査＝紀平宗夫、吉川一夫（高山尚也）



〝一泊総会〟でくつろぐ東大阪市役所千陵会の会員たち

芦間千里会を結成

府立守口高校卒の校友

大阪府立守口高校同窓会（芦間会）会員で関西大学を卒業した校友で「芦間千里会」（会員約百二十人）を結成、平成六年十一月二十五日、新阪急ホテルで五十人が出席して開催された。発起人代表は校友会副会長の寺西武氏。

杉本國雄氏の司会で、寺西発起人代表の挨拶、来賓（別掲）の紹介に続いて、校友会会長で芦間会会員でもある植垣幸雄氏はじめ来賓の方々から丁重な挨拶をいただいた。寺西議長のもと、会長に河合光熙（28法）、副会長に高野武文（33法）、杉本國雄（39商）、幹事長に出原博（47法）の各氏を選出、めでたく船出した。

第二部の懇親会に移り、芦間会員で校友会広報部長の東浦栄一氏の開会挨拶のあと鏡割り。芦間会員で校友会参与の村上精三氏の発声で乾杯し料理を賞味しながら懇親を深めた。最後に河合会長の指揮で輪になって過遇歌を熱唱、万歳を三唱してお開きとなった。

来賓は次のみなさん。順不同。

木村正春関西学院大学同窓会会長▽中道種次法政大学ラグビー部OB会関西地区会長▽長渡紘之大阪府立守口高校校長▽菊池清校友会守口支部長▽福田幸一同守口支部副支部長▽河合達朗東大阪支部長▽平山博司門真支部会員▽賀田重幸校友会総務部長▽永井正尊寝屋川支部幹事長（出原　博）

友粋会が後期総会を開催

友粋会（昭和13年専二商、森田文一郎会長）は、平成六年後期総会を十二月二十日正午から、大阪・道頓堀の「くいだおれ」で開いた。

石川学長、植垣校友会会長から祝電をいただき、全員深謝。年を重ねるごとに病人も多く、減員をたどる会ではあるが、一日でも長く生き尽くすことを願っている。

当日出席者は、会長の森田、西沢、並川、天親、田中と五人だったが、言葉どおりの談論風発で時を忘れ、楽しく過ごし、次回を約して散会した。（田中真澄）

人事

（新・旧・氏名・卒年学部の順）（1月1日付）

▽大阪府庁

【次長級】大阪障害者職業能力開発校長（福祉部国民健康保険課長）岡田　肇（39経）

【課長級】福祉部国民健康保険課長（企画調整部空港対策室参事）小林金教（42文）▽教育委員会事務局福利課長（環境保健医療対策課参事）信藤　智（44経）

校友短信

◆森口宏一展開催中　29年経済学部卒業の森口宏一氏は国立国際美術館で「森口宏一展―現知的造形40年の軌跡」を3月31日まで開いている。

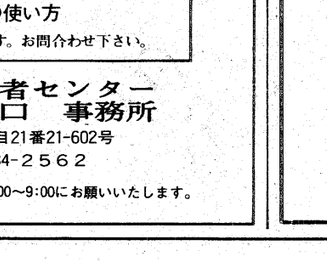
村田判事を迎えて総会

大阪家事調停協会

大阪家庭裁判所の校友家事調停委員の現職とOBで組織する「大阪家事調停協会関大会」は、平成六年度の総会を十二月九日午後五時半、一軸校友会副会長と藤本校友会事務局次長を来賓に、そして今回は、弁護士から裁判官への登用第一号の家裁の村田善明裁判官（38学二法）を顧問として迎えて、総勢十三人が出席して南の「やすらぎ」で開催した。

弓場晴男会長の開会挨拶に始まり、一軸副会長及び村田裁判官の祝辞のあと、弓場会長より本年度の行事経過報告、続いて担当幹事から会計報告があり、全てを承認して議事を終了した。

午後六時より懇親会に移り、季節の鍋料理を賞味し、美酒を酌み交わすほどに今では慣例ともなった名物弓場節の出番となって喜は盛り上がり、また論客村田裁判官の〝鬼平犯科帳〟談義の名調子に耳を奪われるうちに閉会の時ともなり、全員起立して学歌・遇遇歌・応援歌・カイザー関大を声高らかに続々と合唱し、いやがうえにも熟年（？）の意気軒昂なるところを実証して次回の盛会を互いに誓いつつ散会した。（辻本直正）

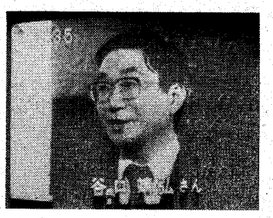


大阪家事調停協会総会で挨拶する弓場会長

冬の山陰／香住港
味覚の王者・松葉ガニ
本場のかに料理
11月初旬～3月末迄（予約受付中）
ぜひ一度ご賞味下さい。ウィークデーのご利用は特別サービスいたします。
◆豊富な海の幸荒磯料理
◆高級和牛のふるさと但馬牛料理
その他ご予算に応じて料理致します。
山陰海岸国立公園（運輸省国際観光民宿）
海辺の宿はまかぜ荘
香住生まれのOBが経営しております
ご予約・お問い合わせはお気軽にどうぞ
TEL 07963-6-0773（香住駅から車で4分）
〒669-65 兵庫県城崎郡香住町下浜

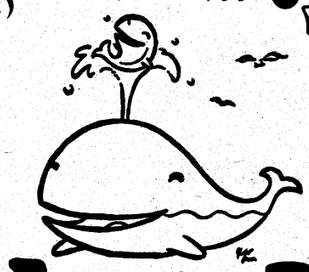
関西大学・教育後援会・千寿会ご下命店
学章型書籍（上用）謹製
和洋御菓子司
株式会社 昌月堂
〒556 大阪市浪速区難波中3－13－28
電話（06）641－1666（代）
FAX（06）647－6478
夜間専用FAX（06）634－6565
近鉄百貨店上本町店・大丸大阪心斎橋店・大阪梅田店・神戸店・髙島屋大阪店・阪急百貨店
大阪梅田店・千里店　ブライダルサロン
大阪府内・神戸市内、有名ホテル・結婚式場
代表取締役　山本俊雄（千寿会会員）
専務取締役　山本雅巳（S53学1法卒）

スーパーチェーン
総合食料品・衣料品・家具
日用品・化粧品・喫茶軽食
株式会社 はやし
代表取締役　林　太一（昭51法卒）
創立　昭和38年12月　資本金　11452.5万円
売上高　185億円
本社　〒558 大阪市住吉区清水丘2丁目11番25号
TEL（06）671－6655（代表）
FAX（06）674－4157

♡♡いつまでも心に残る披露宴・イベント司会♡♡
校友のプロ司会者が真心こめてお引受けいたします。
※結婚式当日の仲人もお引受けいたします。

テレビで語る
谷口靖弘
毎日文化センター講師
NHKこんにちはきんき・キャスター
浪速短大・大阪国際女子大学講師
文学部卒業

元朝日放送アナウンサー
内藤央子
英文学科卒業

フリーアナウンサー
大阪観光専門学校
講師　坂上みどり
英文学科卒業
※校友のプロ司会者募集中・写真、プロフィールご送付下さい。
司会者報酬規定
通常6万円～10万円を
校友関係者に限り
5万円～7万円にてお引受けいたします。
テレビ・新聞で紹介された、好評の講習会
◎ビジネスマナーと話し方
●あがらない方法　●電話応対法　●面接マナー
●受付・応対法　●敬語の使い方
各コース個人・出張指導いたします。お問合わせ下さい。
司会者センター
谷口事務所
事務所　大阪市西区九条1丁目21番21-602号
〒550　TEL（06）584-2562
ご連絡は、代表者・谷口が在する夜間6:00～9:00にお願いいたします。

●てっちり　●ハリハリ鍋　●くえ料理

徳家
大阪市中央区千日前1丁目7-11　上方ビル2F
TEL.（06）211-4448

愛媛支部
総会で特別協力金募る

校友会愛媛支部（山川潔支部長）の平成七年総会・新年宴会が、一月二十八日午後六時から昨年と同じ松山市道後鷺谷町のホテル・ルナパーク八階大広間で開催され、今回初参加の五人を含めて五十五人の校友が参加した＝写真。

総会は全員が起立して、学歌斉唱の後、山川支部長の挨拶と校友が心配している阪神大震災による母校の被災状況の報告、初参加校友の自己紹介、四国四県校友ゴルフコンペ報告などを行った。

また、緊急動議として関大新聞発行に係る特別協力金への積極的支援を募ったところ、参加校友全員の賛同を得て四六、六二一円が集まった。

新年宴会では、畳の上での開催となったためもあり、じっくり腰を落ち着けて昔日の思い出を語り合うもの、各職域の情報を交換するものなど、会場が狭く感じた程の交流の場となり、いろいろな歓談の輪ができた。恒例となった校友寄贈品を中心としたゲームも一段と盛り上がり

40周年記念式典に集まった速記部ＯＢ・現役たち

速記部昇格40周年式典

本学速記部の部昇格四十周年記念式典が、十一月六日、関西大学一〇〇周年記念会館で盛大に挙行された。あいにくの雨天だったが、八十四人（ＯＢ六十一人、現役二十三人）が参加した。

同部顧問の高森八四郎法学部教授の祝辞、橋詰幸一ＯＢ会長（31法）の挨拶があり、大谷豊一氏（34経）の乾杯の音頭で開宴された。

立食パーティーで、ＯＢ・現役とも思い出話に花を咲かせた。主将からの現状報告に続いて、創部四十年の足跡、全日大会、関西学生大会、同察会の歩みを記したパンフレットが全員に配られ、山野和彦氏（42商）から説明を聞いた。現役たちは、四十年の歴史の重みをひしひしと感じている様子だった。

盛り上がる中、口上・学歌・逍遥歌と元気に唱和、最後に関大速記のますますの発展と全員の健康を祈願して板東重幸氏（37法）のリードによる万歳三唱で締めくくった。

（速記部員）

関大法曹会総会を開催

関大法曹会は、一月十九日午後六時半から大阪市北区の「とり菊北店」で総会を開催した。大学からは石川啓学長、國府剛・司法研会長、校友会から植垣幸雄会長、辻見重行事務局長が出席、平成六年度司法試験合格者十人中九人と司法修習生四人、会員三十人が参加した。

辻口信良弁護士の司会で総会が始まり、上原洋允幹事長より開会の挨拶があり、兵庫県南部地震へのお見舞いの言葉と必要とあれば関大法曹会として義援金の拠出を考えようとの提案があった。

その後役員改選を審議、満場一致で新幹事長に児玉憲夫弁護士、副幹事長に島武男、小寺一矢、片山久江各弁護士が選任された。児玉新幹事長から上原洋允、井上克己、岡田尚明各旧役員への慰労の言葉と、上原弁護士が次年度大阪弁護士会会長に就任されることへの励まし、関大法曹会の若返りによってさらに一層充実した活動をしたい、との挨拶があった。

第二部は、司法試験合格者の自己紹介、来賓の挨拶に続き、辻見事務局長の乾杯の音頭で始まった。会員や修習生から合格者への励ましが続き、合格者は関大ファミリーの絆の強さを改めてかみしめていた。

合格者で欠席された向来俊彦氏（平成二年法卒、神戸市役所勤務）は、地震のため徹夜の救援活動を続けている旨の報告があり、拍手で応援する一幕もあった。最後に小寺副幹事長からＯＢ会として学生へのフォローをさらに充実させたいなどの抱負を盛り込んだ閉会の辞で閉めくくられ、散会となった。

（小松陽一郎）

広島支部
有志拠出品で福引を楽しむ

校友会広島支部平成六年度総会は、十二月十日午後六時から市内紙屋町メルパルクで開催され、校友会本部から植垣会長、藤本事務局次長を来賓に迎え、五十余人の校友が参加した。

第一部総会は、物故校友会員への黙祷後、学歌斉唱。新田篤実支部長の挨拶で始まり、植垣会長から祝辞を受けた後、杉野将昭副支部長より事業報告、会計報告、関関ゴルフコンペ、校友会ゴルフコンペなどの活動計画案が報告され、承認された。

第二部の懇親会は、安井文昭副支部長の開宴の言葉に続き、村田実相談役の乾杯の音頭で開会した。有志による拠出品で福引きを楽しみ、エレキバンド演奏や歌なども飛び出した。

最後に母校の発展と校友会のさらなる飛躍を念じ、呉支部から駆けつけて下さった井上洋一元応援団幹部のリードで、スクラムを組んで逍遥歌を合唱。不透明な昨今をしばし忘れるほど、なごやかな心豊かさを感じる宴となり、参加員こそ前年の百十余人を下回ったが、より以上の充実した交流が出来た。

（杉野将昭）

植垣会長の挨拶に耳を傾ける広島支部会員たち

神崎支部
活性化めざす提案など出る

神崎支部は、週末の十一月五日、兵庫県立峯山自然公園の山頂にある郵政省レクレーションセンターで、一泊の第三回総会を開催した。

校友会本部から寺西副会長、辻見事務局長、隣接の姫路支部から中塚正信副支部長を来賓に迎え、設立後間もない当支部ではあるが、三十余人の会員が出席した＝写真。

十一月初旬というのに初冬の雰囲気を感じさせる海抜千メートルに位置する同センターで総会がスタート。コミュニケーション紙の発行、会員相互の慶弔連絡の徹底、支部幹事の"アッ"という間にお開きの時間となり、記念撮影をし、逍遥歌を歌い、来年の再会を固く誓って散会となった。

（仲田正和）

次期会長に福田氏推挙

経済研究部ＯＢ会

経済研究部ＯＢ会（会長・本多新平近畿大学教授＝29経）の総会が、十二月四日午後五時から中央区鰻谷の割烹「湖月」で開催され、現役生三十人を含め六十三人が出席した。

総会では会長挨拶の後、事業報告、会計報告、役員改選、現役生への助成金贈呈等が行われた。役員改選では次期会長に福田弘氏（28経）が推挙され決定した。

続いて、関西大学名誉教授・東井正美氏（22経）の「ポスト平成米騒動」と題する講演があり、分配政策的見地から米問題をわかり易く紹介して頂き出席者一同大いに感銘を受けた。

野村富雄名誉会長（28経）の乾杯の音頭で懇親会が開宴され、新旧ＯＢの回顧談も盛り上がり、懇親も大変深まった。最後に高山英夫副会長（30経）のリードで学歌、逍遥歌を斉唱、来年の再会を約して散会した。

（本多新平）

会長に中野氏続投

不動産鑑定士クラブ

関大不動産鑑定士クラブ（会員約五十人）の第十九回定期総会が十二月九日午後六時から大阪市北区の清交社で植垣校友会会長、辻見事務局長を来賓に迎え、出席会員十二人で開催された。

冒頭、本年一月に惜しくも病気のために死去された故中村佐多志会員の冥福を祈り、次に中野会長より「平成六年の二次試験合格者の上位十校に関大が入っていないのは非常に残念であり、今後当クラブとして後進の育成に努力して会員の拡大を図りたい」旨の挨拶があった。また、毎年当クラブの総会に忙しいスケジュールをぬって出席していただいている植垣会長から大学と校友会の近況について詳細な説明があった。

会計報告の後、役員改選を行い、会長に中野英満氏（再任・27学二法）、副会長には、尾崎康久氏（再任・27学二政）、石原敏氏（再任・33学二法）、榎本正人氏（再任・38学一経）の三氏を、幹事に村山利夫氏（新任・43学一法）と小川哲男氏（再任・46学一仏）をそれぞれ選任した。

年末のあわただしい時ではあったが、時間の経過を忘れるぐらい盛り上がり、盛会のうちに八時過ぎに散会した。

（小川哲男）

仕事上の意見交換や昔話も

兵庫県庁秀麗会

平成六年度兵庫県庁秀麗会（会長・今井和幸副知事＝29法）総会が、十一月二十九日、神戸市中央区のオリエンタルホテルで開かれた。

同会は、会員六百六人を擁する兵庫県庁最大の親睦組織で、役員も三人の特別職を含む最高幹部クラスが就任しており、当日は百六十人の校友が仕事上の意見交換や昔話に花を咲かせた。

北村信二郎副会長（県審議監・33法）の開会のことばで幕を開けた総会は、議事終了の後、懇親会に移り、同会顧問で県会関大会の住本正二兵庫県議会議員（26専経）の歓三等瑞宝章受章を花束贈呈で祝った。

また、来賓として校友会から寺西武副会長と辻見重行事務局長、神戸支部から大浜道子幹事長の出席をいただき、寺西副会長のユーモアあふれる本学の近況報告に笑いの渦が起こっていた。

恒例の新入紹介では、十二人中五人が出席、それぞれが自己紹介、野神明美さん（平成6法）の威風堂々？としたあいさつに、女性上位の社会現象が理解できた。約一時間半の会合は、学歌斉唱の後、芦田弘逸副会長（県教育長・33法）の万歳三唱で盛会裏に幕を閉じた。

（増田登司）

160人が集まり広い会場を埋めた兵庫県庁秀麗会総会

新調の会旗を披露

六車会長ら役員は再選

関西テック千里会

関西テック千里会（六車信樹会長）は、一月六日午後六時半から大阪・桜橋の「しゃぶ禅」で平成六年度総会を開き、二十人の会員が出席した。

第一部総会は、植垣校友会会長からの祝電を披露、六車会長の開会の辞で始まった。現役員の再選とその他の議事を異議なく承認した。

続く新年会は、廣野会員の乾杯と藤田幹事の司会で和やかに進行し、今回新たに製作した「会旗」も披露された。

新たに入社し本会に加わった野口会員の紹介、ふだん、各営業所に散らばっている会員たちは相互の情報を交換するなど、話は弾み、大いに盛り上がった。最後に本会の応援団長である熊田会員のもとで学歌を合唱し、お開きとした。

（六車信樹）

笑顔が並ぶ関西テック千里会の会員たち

春と夏の行事日程を決める

二九千里会

二九千里会は十二月二十四日午後六時からＮＴＴコミュニティプラザで恒例のクリスマス会を開催した。初参加八人を含め十八人が出席、本間会長の挨拶に続き、紅一点乙咩幹事の乾杯の音頭で幕を開けた。

自己紹介のあと、春季コンペの実施概要（三月十七日、ＡＢＣゴルフ倶楽部、二十七人参加）と、夏の四国旅行（参加希望者四十三人）の日程を六月十八日～十九日に決定。また四月のスプリングフェスティバルには、例年どおり参加することを決めた。

会場は六階で眼下に中之島から大阪湾の夜景が一望でき、シャンペン、ウイスキー、ビール、日本酒とお好みの酒をくみかわし、昔話や同窓生の消息、健康問題など話に花が咲き、九時散会した。

（日高由雄）

話が弾み行事日程を決めた二九千里会の会員たち

協賛者名簿

名簿の中で氏名の後ろのカッコ内は一月号掲載分との合計金額。金額別・五十音順。（敬称略）

▼一〇〇万円
稲垣　猛
上月　景正

▼一〇万円
江原　守
中村　正雄
今中　利昭

▼三万円
神沢　恒夫（六万円）
鴻上　芳雄
小谷　守
白羽　弥三（四万円）
津田　弘
山田　幸男
▼二万五千円
山田　栄一（三万円）
麻生　洋三
東　維明
石田　孝俊
石部　勝
市山　豊
稲原一十八
井野　英二（二万円）
井上　重巳
井上　忠次
上塚　和博
内山　学（二万円）
卯津羅泰幸（二万円）
梅井　龍一（一万五千円）
梅田　忠夫（一万五千円）
大浦　善雄
太田　光雄
大西　賢蔵（二万円）
大橋　正信
大南　卓
大矢　卓史
岡田　耕三
奥野　正男
川口　敏寿
川崎　宗一
川瀬　龍二
北川紀太郎（二万円）
北野　璋
北村　弘一（二万円）
木原　健造
楠　健司
楠　雄士郎
國越　照清（一万五千円）
国政　裕朗
熊田　忠雄
熊本　晃
佐藤　幸平
佐藤　聖子
佐々木豊朗
櫻井　努
佐竹　壽
佐藤　作典
斎藤　寛
坂口　勝利
坂本悠貴雄（二万円）
金銅　晃（二万円）
近藤　章
小林　良夫
小見山道有
小森　弘康
小西　健雄
小林　憲一
小林　照佳（二万円）
小谷　三郎
小谷　昇
木戸　善和（一万円）
木野　文生
木下　喜之
木原　國夫
久合田　均
久野　光一
久保　清子
倉橋　孝勇
倉中　要三
桑島　英一
桑畑　貴
五井　宏和
香西　二郎
河野　重雄
郡　和世
小西　勝一
小西　覚一（一万円）
河合　弘一
河合　英彌
川口　隆三
川越　武雄
河内　啓三（一万円）
河西　聡
河野　健
菅　正勝
岸本龍太郎（一万円）
木田　義明
（一万円）
嶋田　宣男
正司　祐一
正楽井暎治
杉山　幸一
鈴木　淳介
鈴木　剛史（一万円）
関　賢市郎
園辺　滋二
高井　善博
田垣　憲久
高田　学
高谷　治秀
宝多　包美
竹内　邦衛
竹内　雅弥
竹内　松雄
竹谷　和夫
竹村　昭彦
竹村　早速
田阪　薫
立花　昇
田中　清一
田中　康夫
田中　勇三
田淵　丈雄
田村　辰雄
丹下　哲夫
檀原　正彦
茶野　光史
月野　和士
辻　正俊
辻川　保雄
辻口誠之助
土庫　一三
土井　武司
徳田　剛
戸田　隆夫
戸塚　淳統
豊嶋　孝次
豊田　嘉彦
鳥生　静夫（一万円）
内藤　義彦
沼田　益定
長井　優
野添　忠
野田　文雄
野々目利一
野村　明弘
野山浩一郎
牧子一
法岡　隆史
乗光　恭生
堀野　真一
本田　豊殖
前川　昌暉
前田　宗彦
本吉　宣凱
目連賢一郎
村山　英樹
▼三千円
足立　正和
上山　隆樹
若林　秀平
▼二千円
新　忠久
可部　彰
見郷　直樹
立川　治男
辰巳　良兼
西小倉大造
福地　一郎
藤田　尚
船津　雅彦（七千円）
山口　高志
山崎　浩
▼一千円
阿部　慎一
黒田健太郎
柴崎　勝
南木　茂人
橋詰　克己
藤島　弘明
藤田　肇
藤宮　雅信
藤宮美千代
藤本　輝明
藤原　一郎
藤原　三郎
古田　實
堀毛　雅章
堀野　真一
本田　豊殖
前川　昌暉
前田　宗彦
松井　義光
松生　零子
松嶋　一晃
松田　義正
松谷宗一郎
松原　重雅
松村　義雄
松本　敦
松本　淳
（一万円）
松山　英雄
松山　文彦
丸木　栄蔵
丸山　泰義
三浦　朗弘
三木　和夫
三國　敏成
水田　政清
三前　洋
満仲　隆
南　政雄
南　義明
南川　忠嗣
三原　實
宮尾　一郎
（一万円）
宮崎　友子
宮宅　博
宮崎　昌泰
宮谷　武志
村上　剛
村上　善夫
村松　忠彦
村山　英樹
▼三千円
目連賢一郎
本吉　宣凱
森下　弘史
森田　義男
森谷　克己
森山　時雄
門田　卓三
矢尾　寿善
安井　嘉朗
安福　利洋
山口　澄
山口　義郎
山崎　照夫
（一万円）
山崎　容敬
山瀬　暢士
山田　昭三
山田　征三
山本　健吉
山本　俊一
山本　成男
濱松　正至
橋詰　克己
吉田　之計
吉田　義一
吉谷　昌亮
吉村　耕治
若林　勇（一万円）
鷲見　彰治
和田　光司
和田　豊
山中　英文
吉川　宏輝
米田　保
若林　秀平
▼二千円
深田　知和
福島　康晴
堀尾　良一
前田　育史
増田　良昭
三浦　尚
宮城　尚生
矢部　潤一
山田登美男
浦谷　昇次
江川　正
江藤　弘巳
遠藤健治郎
逢坂　直浩
大石　治彦
大川　八郎
大久保貞幸
大倉雄次郎
大谷　幸一
大谷　正明
大長　庸祐
大西　靖男
大野　容稔
大東　敏明
大平　良純
大森　一弘
岡　昌樹
岡田　勝彦
岡田　健治
岡田正一郎
岡野　満
岡村　裕子
岡本　博（一万円）
岡本　泰司
小川　俊司
小川　利男
沖　一（一万円）
隠岐美穂子
奥田　式正
奥田　広道
奥田　政則
奥村　正
北山喜久子
北本　賀也
北田　俊文
北尾　行弘
川越　武雄
河内　啓三（一万円）
河西　聡
河野　健
菅　正勝
岸本龍太郎（一万円）
木田　義明
（一万円）
嶋田　宣男
正司　祐一
正楽井暎治
白川　孝三
白木　達夫
戸塚　淳統
豊嶋　孝次
鈴木　淳介
（一万円）
関　賢市郎
園辺　滋二
高井　善博
田垣　憲久
高田　学
高谷　治秀
宝多　包美
竹内　邦衛
竹内　雅弥
竹内　松雄
竹谷　和夫
竹村　昭彦
竹村　早速
田阪　薫
立花　昇
田中　清一
田中　康夫
田中　勇三
田淵　丈雄
田村　辰雄
丹下　哲夫
檀原　正彦
茶野　光史
月野　和士
辻　正俊
辻川　保雄
辻口誠之助
土庫　一三
土井　武司
徳田　剛
戸田　隆夫
戸塚　淳統
豊嶋　孝次
豊田　嘉彦
鳥生　静夫（一万円）
内藤　義彦
沼田　益定
長井　優
野添　忠
野田　文雄
野々目利一
野村　明弘
野山浩一郎
牧子一
法岡　隆史
乗光　恭生
堀野　真一
本田　豊殖
前川　昌暉
前田　宗彦
本吉　宣凱
目連賢一郎
村山　英樹
▼三千円
足立　正和
上山　隆樹
若林　秀平
▼二千円
新　忠久
可部　彰
見郷　直樹
立川　治男
辰巳　良兼
西小倉大造
福地　一郎
藤田　尚
船津　雅彦（七千円）
山口　高志
山崎　浩
▼一千円
阿部　慎一
黒田健太郎
柴崎　勝
南木　茂人
橋詰　克己
藤島　弘明
藤田　肇
藤宮　雅信
藤宮美千代
藤本　輝明
藤原　一郎
藤原　三郎
古田　實
堀毛　雅章
堀野　真一
本田　豊殖
前川　昌暉
前田　宗彦
松井　義光
松生　零子
松嶋　一晃
松田　義正
松谷宗一郎
松原　重雅
松村　義雄
松本　敦
松本　淳
（一万円）
松山　英雄
松山　文彦
丸木　栄蔵
丸山　泰義
三浦　朗弘
三木　和夫
三國　敏成
水田　政清
三前　洋
満仲　隆
南　政雄
南　義明
南川　忠嗣
三原　實
宮尾　一郎
（一万円）
宮崎　友子
宮宅　博
宮崎　昌泰
宮谷　武志
村上　剛
村上　善夫
村松　忠彦
村山　英樹
▼三千円
目連賢一郎
本吉　宣凱
森下　弘史
森田　義男
森谷　克己
森山　時雄
門田　卓三
矢尾　寿善
安井　嘉朗
安福　利洋
山口　澄
山口　義郎
山崎　照夫
（一万円）
山崎　容敬
山瀬　暢士
山田　昭三
山田　征三
山本　健吉
山本　俊一
山本　成男
濱松　正至
橋詰　克己
吉田　之計
吉田　義一
吉谷　昌亮
吉村　耕治
若林　勇（一万円）
鷲見　彰治
和田　光司
和田　豊
山中　英文
吉川　宏輝
米田　保
若林　秀平
▼二千円
深田　知和
福島　康晴
堀尾　良一
前田　育史
増田　良昭
三浦　尚
宮城　尚生
矢部　潤一
山田登美男
浦谷　昇次
江川　正
江藤　弘巳
遠藤健治郎
逢坂　直浩
大石　治彦
大川　八郎
大久保貞幸
大倉雄次郎
大谷　幸一
大谷　正明
大長　庸祐
大西　靖男
大野　容稔
大東　敏明
大平　良純
大森　一弘
岡　昌樹
岡田　勝彦
岡田　健治
岡田正一郎
岡野　満
岡村　裕子
岡本　博（一万円）
岡本　泰司
小川　俊司
小川　利男
沖　一（一万円）
隠岐美穂子
奥田　式正
奥田　広道
奥田　政則
奥村　正
北山喜久子
北本　賀也
北田　俊文
北尾　行弘
川越　武雄
河内　啓三（一万円）
河西　聡
河野　健
菅　正勝
岸本龍太郎（一万円）
木田　義明
（一万円）
嶋田　宣男
正司　祐一
正楽井暎治
白川　孝三
白木　達

大阪人文化論

その53

北浜盛衰記《2》

商学部教授　松谷　勉

現在の大阪証券取引所は、戦後、一九四九年に、先物取引は行わないことを条件に、GHQから再開を認められたものである。したがって、戦前の定期取引とくに短期清算取引を中心に、相場師・勝負師達が活躍した投機の場であった株式会社大阪株式取引所ではなく、大衆投資家の投資市場の中心として、実物取引だけの会員組織の取引所である。

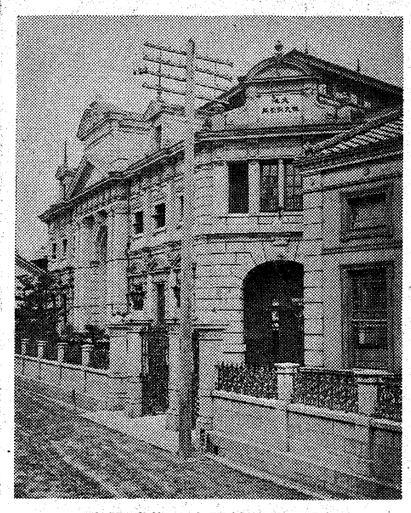
「取引所が昭和二〇年八月に閉鎖されましてから今日に至るまで、三年九カ月の長きにわたりまして、取引所の空白時代を経過して参ったのであります。（中略）我国の取引所は、過去七〇年にわたる長い歴史を持っておりまして、時あたかも日本の資本主義の興隆時代にあり、取引所が当時の日本経済の発展のために、若干の功績を残したことは、否定し難いのでありますが、これはいわゆる功罪相半ばして、反面において、過去の日本の取引所は、大衆投資家を投機のルツボの中に引入れ、この取引所の建物も、投機取引の殿堂たる観を呈したのであります。然るに、ここに生を見るに至りました取引所は、建物こそ同一でありますが、中味は全く一変致しまして、真の投資市場として、昨年五月制定されました証券取引法の立法精神である投資家の保護と公正自由な取引の殿堂として、流通市場としては勿論、発行市場に強力な指標を与えて参る訳であります」（高橋大証理事会議長）「新取引所は、過去の取引所とは全く異りまして、営利を目的としない会員組織でありまして、会員が自主的に運営する取引所であります。（中略）時局のためとは申しながら、昭和一八年株式会社組織の大阪株式取引所が廃止せられまして、官営の日本証券取引所が出現しますような時勢の大逆転をみまして、誠に失望落胆したのでありましたが、敗戦の結果、却ってここに会員組織の取引所設立という宿望が遂に達せられたことは、実に怪我の功名とは申せ、感激の極みであります」（兒山大証理事長―『大阪証券取引所十年史』）五月十四日取引所開所式での両氏の言葉の通り、まさしく古い皮袋に古くて新しい酒を盛られたといえよう。取引所創設時の一八七八年（明治十一年八月）以来常に問題となっていた取引所の組織と売買取引仕法が落着し、ここに、アメリカ型の実物取引一本の会員組織の新生取引所が誕生した。

このように戦後の取引所は、実物取引一本で再開されたが、ドッジ・デフレ政策による金詰りと、SCLCの放出株、企業再建整備法による大量の増資が集中して、株式の供給過剰となり市場不振が続いた。そこで、それを打開すべく、早くも翌年から仮需給導入のためのローン取引が実施され、同時に、戦前のような定期取引か、あるいはアメリカ流のレギュラー・ウェイに倣った信用取引かについての論議が活発になされ、結局、翌五二年六月から現行の信用取引制度が導入され、同時に投資信託制度も発足させた。朝鮮動乱による景気好転と資産再評価によるいわゆる無償交付の盛行、更には、投資信託の普及によって、株式市場は次第に活況を呈し、五五年から六一年にかけての神武景気と岩戸景気によって株式ブームとなり、株式市場は急激に拡大した。「銀行よサヨウナラ、証券は今日は」なるキャッチフレーズも登場し、利回り革命が定着しだした。

成長性志向から将来性ある中堅企業が選好され、店頭市場は急速に人気化・拡大した。そこで六一年一〇月から東京・大阪・名古屋の三証券取引所内に市場第二部が設けられることになった。市場第二部開設にあたって、大証理事長　岡野衛士氏は「このたび市場第二部が開設されましたのは、最近の大幅な貿易自由化の進展と高度成長政策に伴う産業規模の急激な拡大から、大企業のみならず中堅企業においても、その設備資金を流通市場を通じて調達する気運が高まったことや、店頭市場の人気化に伴う投資者保護の必要性から、早急にこれを本所の管理する正規の有価証券市場に吸収することにより、公正な価格の形成と取引の適正をはかる必要が生じたからであります（略）」（大阪証券取引所史　第二巻）と述べられている。なお、岡野氏は本学法学部出身で、元校友会会長でもあった。同氏は戦前の株式取引所・日本証券取引所を経て、戦後の取引所の設立に際して中心的なメンバーの一人として尽力され、設立後理事（理事長代理）として兒山初代理事長を助けて、GHQとの折衝や新制度下における煩雑な業務の処理に当たられ、二七年八月に常務理事に、三〇年一月二八日に第二代理事長に就任され、七年半にわたって、その任務を遂行された（大阪証券取引所史　第二巻）。

戦前におけるような過度な投機を防止するために、また企業の資金調達市場の中心としての機能を果たすべく先物・定期取引を禁止して、実物取引一本で再開された今日の取引所が、市場振興を計るために、まず未発行株式の先物取引である発行日取引、続いて信用取引、そして遂には、八五年中以降の債券先物・株価指数先物・オプション取引へと、先物・投機取引を導入してきた。これはまさしく、戦前の投機取引のリバイバルであり、投機市場への回帰である。歴史は繰り返される。新先物商品の開発で大証の更なる飛躍を期待する。

大阪証券取引所・今昔（社説）



大正時代の大阪株式取引所

平澤会長を祝う会

五十経会が盛大に

亀有幹事長から記念品を贈られる平澤会長（右）

本大学の異色卒業生を輩出している五十経会（昭13専経）は卒業後五十六年の間に本大学理事長に稲野治兵衛君（平成四年死去）、昭和三十二年宮中歌会始入選作を出した歌人唐川次夫君（昭和五十年佳作入選）、続いて去る九月二十一日、日本仏教の名宗夫台宗総本山延暦寺一山衆議決定の異例の表彰状を受けた平澤農一会長を加えることになった。

平澤会長の受賞が本紙（10月15日号）で報じられると同時に、同級生有志が「平澤農一学兄を祝う会」開催を決定、十一月十六日午後四時半から名享花外楼近鉄アベノ店の座敷の間で盛大に行われた。

校友会本部から寺西武副会長、東浦栄一広報部長が来賓として出席、級友は地元大阪は勿論、愛媛県松山市から鈴木琢衛君が馳せ参じ参会者十一名。司会唐川次夫君で祝宴が進められた。学歌斉唱のの、幹事長亀有正男君は開会挨拶で「平澤学兄を祝う会」の趣旨並びに平澤学兄の人生サイドワークを称揚し、雨ニモマケズ法要司祭無欠連続三十年の奉仕はビジネス（本業）の大使館料理長養成管理栄養士教育の現役経営を底あげしていると解説祝福した。

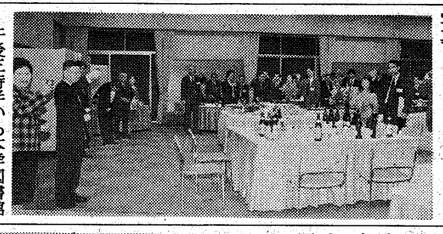
雨ニモマケズ法要司祭30年

続いて寺西武副会長が「簡潔要領のよい『祝いの会』は五十経会四十年の伝統。今宵は人徳高い平澤学兄を大いに祝いましょう」と、全校友を代表して祝辞が述べられ、続いて幹事佐藤治夫君が寄せられた祝電、祝詞を披露、特に平澤会長の出身県の岩手県工藤厳知事さん、賢治の実弟宮澤清六さんから「延暦寺表彰受賞は岩手の誇り」と高評価の電文。延暦寺長鵜佐々木大僧正の「感謝」の電報、母校上田繁潔理事長からも懇ろな祝電が寄せられた。又、千葉、東京、福井、地元級友からも三十年無欠奉仕、雨ニモマケズの賛揚電文は会同者を感激させた。電文中「延暦寺表彰は宗教界の文化勲章！」には一同拍手をおくった。

参会者の記念品料を亀有幹事長から受賞者平澤学兄に手渡された。

配膳の後、東浦栄一広報部長の発声で乾杯。平澤会長は感慨新たに「級友中心の祝宴に感謝。私の行動基準は賢治の雨ニモマケズ、思索哲学は関大で習った『サイン』と『ソルレン』。私の人生の手本は級友のライフスタイルにあった」と、深々と頭をさげたのが印象的だった。

なにわ料理の粋を肴に傾け



午後三時半から本学図書館ホールで三田工業㈱東京研究所長、松本丞一氏（電気一期卒）の「複写機産業の現状と展開」、電子工学科今西茂教授の「関西大学での三十年を過ごして」と題する有益な特別講演があった。

引き続き五時から関大会館ホールで祝賀パーティーが開かれ、神戸高専の吉永元一氏（電気二期卒）三洋ソーラーエナジーシステム㈱の今井庸勝氏（電気四期卒）から祝辞を頂いた。アイディ産業㈱の高浜文彦氏（電気三期卒）から記念品（二百五人分）の贈呈があったあと、今西先生の還暦を祝って乾杯した。夫人同伴の人も含め百三十人が出席、ビンゴゲームなども楽しみながら旧交を温めた。

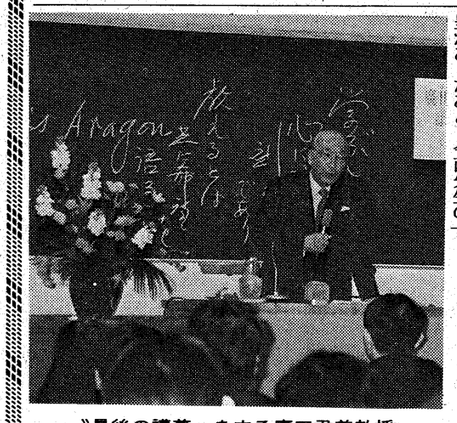
富士通関西通信システム㈱の山本規洋子さん（電子十五期卒）から今西先生へ、㈱オルビスの小倉久和氏（電子十五期卒）から奥さまへそれぞれ花束が贈られた。最後に全員で学歌を高らかに歌いあげた。

また工学部計算機研究室卒業生一同から校友会へ特別協力金として金一封を寄付した。

（村中徳明）

今西先生の還暦祝賀会

工学部計算機研究室卒業生の総合同窓会を兼ねた今西茂先生の還暦祝賀会が、十一月十九日、盛大に開催された―写真。



〝最後の講義〟をする廣田君美教授

廣田、中農両教授　お別れ講義

三月で定年を迎える本学社会学部の廣田君美教授は一月十日、中農晶三教授は十二日、社会学部一〇一教室で退職記念講演をそれぞれ行った。

五百人を超える学生ら聴講生に廣田教授は「やれやれやっと来たか、早くも来てしまったのかの複雑な気持ちと、心境を述べたあと、名調子の〝お別れ講義〟をした。中農教授も満員の学生たちに、ふだんの人なつっこい表情で静かに最終講義。大きな拍手がおくられた。

琵琶湖周遊を楽しんで記念撮影した留学生たち

留学生日本事情見学会

信楽焼と琵琶湖周遊

伝統工芸理解し親睦も

本学の毎年恒例の留学生日本事情見学会が十一月二十六、二十七の二日間実施された。一般の外国人留学生の他、協定校からの交換受入の先生方や留学生らを交じえ、総勢九十三人が秋の小旅行を楽しんだ。

今回は日本の伝統工芸を理解してもらうこと、留学生間の親睦を深めること、それに長年、オレンジシガ留学生基金に多額の寄付金を頂いている同カントリークラブに謝意を表すという趣旨のもと、狸の焼き物で有名な滋賀県の信楽を訪ねた。信楽古陶館で平安末期から現代に至る作品群を鑑賞した後、作陶体験では女性陶芸家の指導のもと、なんとか自分なりの芸術作品を一同仕上げることができた。

昼食会場をお礼会として、オレンジシガカントリークラブから校友である堀丈輔専務取締役支配人と中川良雄常務をお迎えし、林大鵬留学生会会長（商学部3年次）と余玉鈴副会長（商学部2年次）からお礼の挨拶があり、感謝状、記念品の贈呈が行われた。堀支配人は寄付金が有意義に運営され、このような形で留学生にも会えた喜びと、会員にもこの事業を周知したいと述べた。

その後、琵琶湖で遊覧船のミシガンに乗り、比叡の山々に沈み行く夕日を見ながら湖上での周遊を楽しんだ。

夜は高槻キャンパスの高岳館に泊まり、先生はじめ中国、韓国、台湾、マレーシア、ベルギー、アメリカ、オーストラリアなどの留学生による各国自慢の歌やパフォーマンスが繰り広げられ、より一層の親睦を深めた。翌日は近くの振津峡へのハイキングで今回の外国人留学生日本事情見学会を終了した。

一泊二日の短い日程だったが、参加者一同大満足の様子。このような行事ができたのもオレンジシガ留学生基金による所が大であり、紙面を借りて厚くお礼を申し上げたい。

（葛馬寿秀）

新刊紹介

書名・著編者・出版社・定価の順

「歌集　碧玉」

鳴上　善治（27学二国、元大阪府立大手前高校教諭・日本歌人選者・大阪歌会代表）著、石川書房刊・三〇〇〇円

待望の第六歌集である。昭和三十七年に「花に坐す」、五十一年「心神」、五十九年「蠶（たてがみ）をあぐ」、平成四年「大籃（てんらん）」、六年「春愁」に続くもの。四年一月から六年五月までの作、七百二十三首が収められている。この中には、長歌の復活を願う著者の心意気を示す「心中大網島」、「黒き津波と炎」、「犬養孝博士を讃ふ」の長歌二首と反歌も含まれている。

「忘れ去られようとしている東洋的な、日本的な美の伝統を詠もうとした」と、「あとがき」に記しているが、著者はあえて荒行「千日回峰」の道を歩き、その一端を体験し、心と身体を一つにして自ざす詠風の樹立に努めた。

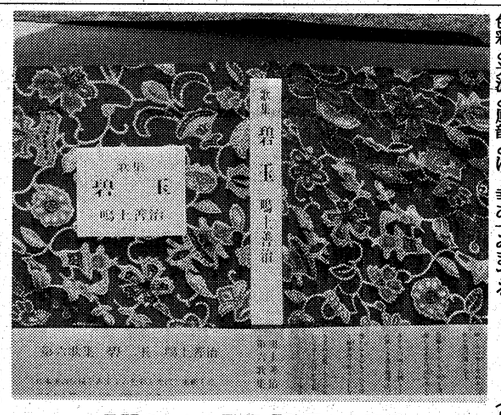
杳（はる）かなる風信帖を思（も）ひ最澄にみちびかれ冷え透る勤行（ごんぎゃう）のこゑ

「日本美の伝統を古宝玉の色彩と光沢と風韻とに、幸あれと願いをこめ、『碧玉』となづけた」といい、伝統の美を追求する執念がページの外へあふれ出ようとするかのようだ。

神と人の全（まった）くなれる古（いにしへ）のはじまる闇夜か美の傳へなる

伎藝天のいざなふ天へわれ代して道に随ひ拜（をろが）みまつる

（S）



見開きにした歌集「碧玉」の表紙

「ゴロる日本史」

芝田　啓治（48学一経、清教学園高校教諭）著、学生社刊・一、二〇〇円

世にゴロ合わせで覚える参考書の類は枚挙に遑いとまがないほどである。しかし、この「ゴロる日本史」を読ませていただいて、正直、目から鱗が落ちる想いがした。さすがに、進路指導で著名な清教学園高校の芝田先生だけに、生徒が何で悩み、何を求めているのかを熟知しておられる。

だから従来の参考書のように年号の暗記だけを狙いとはしていない。重要年号がもれなく入っているだけでなく、必須事項・人命も合わせて桑に覚えられるように工夫されている。さらにポイントについては分り易い補足説明が加えられている。

さっそく、私共の日本史担当の者に見せたところ「ウーン」とうなって言葉を失ってしまっていた。そこには驚嘆と悔しさが入り交じった複雑な心理があったようだ。

難しい内容を分り易く解説するには、豊富な知識と共に情熱とアイディアが不可欠である。面白いゴロ合わせも生みの苦しみなくしては生れ得ない。ここまでの工夫をなされたことに改めて深く敬意を表する。

本当に、本書に巡り合えた受験者は幸福である。入試で高得点をあげることができるのはもちろんのこと、日本史が好きになれるのだから。

―大波　廣（エール予備校校長）

「FLYERS―California―」

（フライヤーズ―カリフォルニア）

北村祐子（62学一社、フリーライター）著・写真、ぶなのもり刊、星雲社発売・二九三〇円

フライヤーとはアメリカ英語で「ビラ、ちらし」の意。日本の感覚なら「文化・アート」とは程遠い紙切れたちだが、それがいかにカリフォルニアの今を表現しているか！それが本書から伝わってくる最も大きな感動だ。

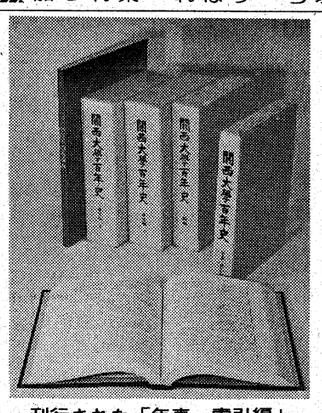
著者いわく、フライヤーの神髄は「目立てば勝ち」。目がつぶれそうな蛍光色や奇抜なデザイン、ユニークな手書き文字が画面にあふれているのもそのためだ。中でもフライヤーの下部にたくさんの連絡先をイカ足状に付け、必要な人が破り取れるようにした工夫は、とりわけ彼女を感動させたようだ。

こうしたフライヤーたちの内容は、政治集会やライブ告知、何の説明もなく詩が印刷されたものまで様々。ほぼ等倍の大きさで紹介される迫力あるフライヤーたちに、全てちょっとしたコメントがそえてあり、それがまた面白さを言い当てていて興味深い。

著者の北村氏は在学中からミニコミ誌を発刊するなどクリエイティブ活動を操り広げてきた。その彼女が音楽活動のため渡った西海岸で、ピンときたアートがこのフライヤーなのだが、今やマルチメディア雑誌で特集が組まれるほど、フライヤーへの関心は高まりつつある。アート論、比較文化論、広告学なども含め、本書が担う役割は大きい。

―久保田説子（62学一社、フリーライター）

関西大学百年史「年表・索引編」を刊行



刊行された「年表・索引編」（手前）と既刊の百年史

創立一〇〇周年記念事業の一つとして編纂が進められてきた「関西大学百年史」の「年表・索引編」がこのほど完成した。

その名が示すとおり、「年表」と「人名索引」からなり、いずれも既刊の「通史編・上・下」に記載されている事項・人名を収録の対象としている。特に、「年表」では、教学・法人事項と学生関係事項に収めた項目の文末に「通史編」の記載ページを示し、もとの記述に当たれるよう便宜をはかっている点が大きな特徴。「通史編」と相互に補完しあうことで、より一層便利に使用できるようになっており、学内外での有効活用が期待されている。

本書の刊行で「関西大学百年史」は「通史編　上」「通史編　下」「人物編」「年表・索引編」「百年のあゆみ（写真集）」の四編五巻が完成したことになり、あとは「資料編」を残すだけとなった。希望者には、「年表・索引編」を実費で頒布する（二五七五円税込、送料は別）。問い合わせは関西大学出版部（〇六―三六八―〇三三七）まで。

（出版部）

お悔やみ申し上げます

前田　忠雄氏（まえだ・ただお―25専二法、元三和銀行本店勤務）は、平成6年2月2日、肺がんのため死去。66歳。

西田　重樹氏（にしだ・しげき―32学一経、元日鉄サッシ販売㈱大阪支店特需形機営業課長）は、6年2月16日、大動脈解離のため死去。59歳。

窪　近基氏（くぼ・ちかもと―25学二国、元大阪市立橋小学校教頭）は、同4月5日、悪性リンパ腫のため死去。75歳。

頼木　茂氏（よりき・しげる―30学一経、太田川ゴム場取締役支配人）は、4月16日、心不全のため死去。61歳。

深山十史範氏（みやま・としのり―26専二商、元芦屋市監査事務局長）は、4月21日、総胆管がんのため死去。70歳。

脇坂　邦夫氏（わきさか・くにお―44学二商、元倉屋商会勤務）は、6月14日、肺がんのため死去。47歳。

山下　益美氏（やました・ますみ―10専二商、元阪急百貨店事業課長）は、7月12日、肺炎のため死去。82歳。

奈須楢太郎氏（なす・ならたろう―35院修哲、元大阪学院大学高校教諭）は、7月20日、病気のため死去。62歳。

川崎　均氏（かわさき・ひとし―48学一社、宝塚市役所勤務）は、8月8日、肝臓がんのため死去。43歳。

丸橋　正彦氏（まるはし・まさひこ―18大経、元山陽鋼業㈱代表取締役）は、8月23日、胃がんのため死去。75歳。

鎌本　徹也氏（かまもと・てつや―33学一法、元㈱やまとやしき経理部次長）は、11月6日、腸閉塞のため死去。59歳。

中村　正氏（なかむら・ただし―13専二経、元安田信託銀行大阪支店不動産部長）は、11月26日、心不全のため死去。77歳。

加藤　福雄氏（かとう・ふくお―大9専商、元神戸製鋼所内田宮記念館館長）は、11月28日、老衰のため死去。94歳。

田島喜代次氏（たじま・きよじ―旧姓藤井、12大経、元㈱丸ヱム製作所代表取締役社長）は、11月28日、病気のため死去。82歳。

太城　藤吉氏（たしろ・とうきち―元関西大学社会学部教授）は、12月7日、肺がんのため死去。80歳。

大岩　正芳氏（おおいわ・まさよし―関西大学名誉教授）は、12月10日、呼吸不全のため死去。73歳。

上田耕太郎氏（うえだ・こうたろう―大15専経、元鉄道弘済会大阪営業所経理課長）は、12月11日、老衰のため死去。91歳。

蘆田　昭氏（あしだ・あきら―30学一経、福知山商工会議所専務理事）は、12月21日、脳梗塞のため死去。63歳。

田中　正氏（たなか・ただし―12専二経、元日証㈱常務）は、平成7年1月7日、心不全のため死去。83歳。

泉田　廣視氏（いずみだ・やすみ―29学二新、校友会常議員、元大阪府立職業サービスセンター所長）は、1月8日、食道がんのため死去。63歳。

常議員5期目、前期広報部副部長。

松谷　哲蔵氏（まつたに・てつぞう―2大経、元医療法人岡田病院事務長）は、1月13日、病気のため死去。91歳。

荒木　宏氏（あらき・ひろし―29学二法、元共産党衆院議員、弁護士）は、1月14日、脳梗塞のため死去。66歳。

井上　清治氏（いのうえ・せいじ―33学一新、井上木動産代表者）は、1月24日、すい臓炎のため死去。59歳。

半井　政夫氏（なかい・まさお―旧姓長富、12大法、弁理士）は、1月24日、心不全のため死去。88歳。

◇　◇

一月十七日の阪神大震災でなくなられた校友で、一月三十一日現在、判明した人は次のみなさん。心からご冥福をお祈りいたします。（順不同）

斉藤　実氏（さいとう・みのる―39学一法、西宮市立西高校事務長）

香椎　恭子さん（かしい・きょうこ―平5学一法、兵庫県警尼崎中央署勤務）

中川　政人氏（なかがわ・まさと―8専一法、元㈱阪神タイガース取締役）

長岡　敦子さん（ながおか・あつみ―平5学一法、UCC上島珈琲㈱勤務）

村上　和裕氏（むらかみ・かずひろ―58院修経、エム・アール・ケイ勤務）

森寛紹・元高野山真言宗管長が死去

校友で元高野山真言宗管長の森寛紹（もり・かんしょう）師が、平成六年十二月二十六日午後十時十五分、老衰のため和歌山県伊都郡高野町の病院で死去した。九十五歳だった。

大正十五年、本学予科を経て法文学部法律学科を卒業。昭和二十七年十月から三十九年九月まで法人評議員を三期務めた。

洗練された味と気軽な雰囲気
アミチェとビストロ・アミスター
気持のあるフランス料理のお店
アミチェ心斎橋店
海の幸フランス料理で校友の皆様にご好評いただいております。　下村八郎（39文卒）
ランチ 2,000～5,000　AM11:00～PM2:30
ディナー 6,500～13,000　PM5:00～PM10:00
大阪市中央区心斎橋筋1-5-31 ラ・シーンビル6F
心斎橋・大丸本館と別館の間東へ20m右側
06-251-3076　無休
フランス田舎料理
ビストロ・アミスター淀屋橋店
ランチ 1,200、1,500、2,400
ディナー 2,800、3,500、5,000
京阪淀屋橋改札前 NEX-T-1-2階
06-227-4160

Graph Media
「知」の通った情報体 "グラフメディア"
いまはじまる印刷新世紀"グラフメディア"
東洋紙業株式会社
大阪本社：大阪市浪速区芦原1丁目 ☎(06) 567-2111(大代表)〒556
東京本社：東京都品川区南品川6丁目 ☎(03)3450-2111(大代表)〒140
営業品目：商業印刷 出版印刷 包材 ビジネスフォーム 磁気・ICカード エレクトロニクス関連部品 特殊印刷 企画・デザイン 映像メディア企画制作

TBC TABUCHI
人と水との関わりあいを見つめて半世紀
人々の生活に深く関わっている水を確実に、安全に、そして効率よく供給するシステムづくりだけを凝視してきました。
未来展望に沿った明確なビジョンとテクノロジーによる次代架橋――これが私達TABUCHIの使命であると考えています。
営業品目
■給水栓　■地下埋設給水システム商品（止水栓・継手・サドル分水栓施工用品・逆流防止弁・仕切弁・鉛管補修用金具・メーターベース）
株式会社タブチ
本社・工場 〒547 大阪市平野区瓜破南2丁目1番56号 ☎大阪 06-708-0150(代) FAX 06-708-0210
仙台営業所　高槻営業所　広島営業所　静岡出張所　沖縄出張所
東京営業所　名古屋営業所　福岡営業所　松山出張所　特販営業課
横浜営業所　大阪営業所　土浦出張所　鹿児島出張所　TBCメンテナンス

MARU NAKA
代表取締役社長　田合　邦臣（昭37学1商）
防災設計・施工からコントロールシステムまで。
マルナカは、快適環境のトータルプロデューサーです。
営業品目
◎防災設備設計・施工・保守点検　◎厨房・ダクト消火・トマホークジェット　◎多重送信装置
◎消火器・消防用品・安全保護具　◎赤外線ルームコントロールシステム　◎CADによる図面作成
◎損害保険HPR-J（高度防災特約付火災保険）　◎省エネルギーシステム　◎C.G. 企画・設計支援
株式会社マルナカ
本社 大阪市北区中崎西4丁目2番27号 〒530
TEL(06)371-7775(代表) FAX(06)372-1859
東京本社/札幌営業所/神戸マルナカ/名古屋マルナカ/九州マルナカ

めざせ、建築界のスペシャリスト!!
1級・2級建築士養成講座
受講生募集中
梅田・難波・京橋・天王寺・京都・神戸・姫路教室
資格取得をサポートする
総合資格協会
関西本部
代表取締役社長　岸　隆司（昭和48年法学部卒）
資料無料送呈　※社員も同時募集しています。
〒530 大阪市北区梅田2丁目1番22号 桜橋アストリアビル6F Tel.06-341-3801(代)
■本社　東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル18F Tel.03-3340-6711
■東京本部　東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル9F Tel.03-3340-2811
■中部本部　名古屋市中区丸の内3-22-21 安田火災名古屋ビル8F Tel.052-953-0471
■九州本部　福岡市博多区博多駅前1-4-4 安田生命博多ビル5F Tel.092-476-5611